

きょうの紙面

- 2,3頁 学びの場紹介
- 4頁 子ども記者
- 5頁 地域のニュース
- 8,9頁 まんが科学百科

子どもしんぶん

さん太タイムズ

2012年(平成24年)

7月8日

毎週日曜発行

発行所 山陽新聞社
岡山市北区柳町2-1-1



子ども大学で、お金の使い方を学ぶ子どもたち

まな
たの
学ぶって楽しいね

岡山で「子ども大学」 小学生ら「入学」

楽しみながら学ぶ「子ども大学」が岡山市北区伊島町の岡山県生涯学習センターで開かれ、大勢の親子が「入学」してキャンパスでの学びを体験しました。

岡山県内の11の大学が、特色あるテーマでコーナーを設けました。上手なお金の使い方を取り上げたのは岡山商科大学。経営学部の藤林宏一准教授の指導で、小学生らが限られた小遣いから欲しいものを選び、お金の管理の仕方を学びました。

「小遣い帳を付けるとお金の使い方を考えながら使うようになることが分かった」と、岡山市立大元小5年高谷直生君(10)。

このほか、岡山理科大学は割れたガラスに見立てた卵の殻の上を歩く防災体験を実施。川崎医科大学は、からだの仕組みをやさしく解説し、くらしき作樂大学で音楽を学ぶお兄さん、お姉さんは、参加者とリズム遊びを楽しみました。

(2ページにつづく)

夏の学校、わくわく

岡山県内 学びの場紹介

「子ども大学」が開かれた岡山県生涯学習センター(岡山市北区伊島町)に、南極の氷がやって来ました。そっと耳を傾けると、「プチプチ」と太古の空気がはじける音が聞こえます。南極の不思議に触れ、「空気の音に家で作る氷との違いを実感し、勉強になった」と岡山市立伊島が4年仲村陸斗君(9)。

夏休みに合わせ、岡山県内では子どもたちの好奇心、探求心をくすぐる学びの場がたくさん計画されています=表。

環境学習センター・アスエコ(岡山市北区下石井)は、身近な環境問題や自然エネルギーの大切さを学ぶ講座を開きます。岡山大学(岡山市北区津島中)や就実大学(岡山市中区西川原)は、工学や科学に関する体験学習会を計画。銀行などは、お金について学ぶ金融教室を開催します。

大原美術館(倉敷市中央)では、恒例のチルドレンズ・アート・ミュージアムが開かれ、文化に触れる機会も。美術教室や植物教室など多彩な教室も相次ぎ、自由研究に役立ちそうです。

(瀬尾由紀子)



南極の氷に触ってみる子どもたち

地震被害を模擬体験

大学生協力、岡んで子ども大学
安全マップにも取り組む



割れたガラスに見立てた卵の殻の上を歩く子ども

主催が24日、岡山市北区伊島町の県生涯学習センターで開かれ、多くの家族連れらでにぎわった。

県内11大学がそれぞれブースを設置。岡山理科大学は「地震から身を守る」をテーマに、割れたガラスに見立てた卵の殻の上を歩く防災体験を実施した。子どもたちが「痛い」と声を上げると、学生は「避難するとき慌てずスリッパや靴を履いて」と話し掛けた。

子どもたちがゲームなどを通じて学ぶ「日よび子ども大学」(大学コンソーシアム岡山)所を見つけて地図にシールを貼る安全マップ作り(山陽学園大)も人気を集めた。小遣い帳の付け方を学ぶコーナー(岡山商科大)に参加した岡山市立津島小3年の難波風香さん(8)は「お兄さんが優しく教えてくれた。家でもお小遣い帳を付けたい」と話していた。

(大江恵里奈)

2012.7.18

22 全県版



6月25日 月曜日

ここに川崎医科大学の記事!

大学コンソーシアム岡山担当 衛生学 大槻剛巳